



心ひとつに

美郷町立美郷中学校
令和5年12月25日
文責：西鳥羽



* 本校ホームページ→

後期前半終了



一心祭フィナーレ

周囲は一面銀世界となり、いよいよ本格的な冬の到来を実感するようになりました。令和5年も残すところ1週間。本校は今日で後期前半が終了しました。夏休み以降、コロナやインフルエンザなどの感染症や猛暑、熊の出没等、予断を許さない状況が続く中で、日々の生活を始め、合唱祭、一心祭、駅伝・マラソン大会、なべっこなどの主要行事も無事行うことができました。目を輝かせて行事に向かう子どもたちの笑顔から、大きな成長を感じました。10月には、1年2組と3年3組が、郡内の先生方に道徳の授業を公開し、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。漢字・数学・英語の各検定や各種コンクールに挑戦した生徒も多く、自分の可能性を最大限に伸ばそうと努力する意欲が感じられました。部活動でも同様で、目標をもって日々の練習に取り組み、大きな成果を上げることができました。一心祭の収益を活用した福祉施設への物品の寄贈など、地域貢献もできました。

このように、充実した期間にすることができたのは、生徒の努力とそれを支えてくださった保護者の皆様のご協力の賜です。ありがとうございました。

学習相談



冬休み中とはいえ、秋田県内では1月5日の私立高校を皮切りに入試がスタートします。3年生にとっては、自分の進路実現に向けて取り組む佳境に入っています。本校では、そんな3年生を支援しようと、5教科の学習相談を実施しています。冬季休業中も5日間実施するほか、1月5日にはテストが計画されています。主体的、計画的、継続的な家庭学習と、課題意識をもって学習相談に臨むことで、目標達成につなげてほしいと思います。

1、2年生も、全力で頑張る3年生の姿を参考にして、自分の取組を振り返ることで、有意義な時間を過ごしてくれることを期待しています。



1年生

2年生



3年生

PTA授業参観

18日は、たくさんの保護者の皆様にご来校いただきました。ありがとうございました。1、2年生は教科の授業、3年生は総合的な学習の発表会でした。保護者の皆様に見守られ、いつも以上に張り切って、学習に臨むことができました。

1年の計は……

「1年の計は元旦にあり」という言葉があります。1年の計画は初日である元旦にこそ立てるべきであるという意味です。せっかくの機会ですので、令和6年に向けて、子どもたちが自分の目標をしっかりと定め、具体的な計画を立てられるようなお声かけをお願いします。計画を立てる際に大切なことは、具体的であるかということです。「とにかく具体的に動いてごらん。具体的に動けば具体的な答えが出るから」は、相田みつをの言葉です。日本の三大随筆の一つで鎌倉時代に兼好法師によって書かれた「徒然草」の百五十五段に「必ず果たし遂げんと思はんことは、機嫌を言ふべからず」という言葉があります。今の言葉に直すと、「必ず成し遂げたいと思うことは、時期をとやかく言っている暇などない。」となります。つまりは、「すぐに取りかかりなさい。」ということです。「すぐに」、そして「具体的」が計画遂行のためのキーワードです。

道は自分でつくるもの。道は自分で切り拓くもの。人がつくったものは自分の道にはなりません。子どもたちにとって、この冬休みが、さらに成長するための契機となってくれることを願っております。